

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



新年のご挨拶

新年明けまして、おめでとうございます。旧年中は、登録医の先生方をはじめ、医師会および歯科医師会の皆さんには、多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

当院は平成8年に開放型病院となり30年が経過しました。現在1858名（医科1454名・歯科404名）の先生方に登録医になっていただいており、先生方からのご紹介と救急医療で運営されています。

ご紹介いただきました、患者さまやそのご家族には、診療の合間に、展望レストラン、喫茶ドトール、焼きたてパン屋、売店ローソン、広い患者図書室などでくつろいで頂き、お帰りの際は、シャトルバスで、サクラマチや鶴屋デパートまでお送り致します。

国立病院機構熊本医療センター

院長 たか はし たけし
高橋 賀毅



当院は

「患者様に優しい断らない救急医療」と「患者様に優しい低侵襲がん診療」を2つ柱にしておりますが、さらに質の高い医療サービスを提供するためにも、登録医の先生方、地域の医療機関との連携をより強化し、地域医療に貢献してまいり所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

特集

新年のご挨拶

- 院内医学会プログラム
- VOICE
- くまびょう TOPICS

- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿



基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、良質で安全な医療を目指します。

運営方針

- 1. 政策医療の推進
- 2. 救急医療とがん診療の推進
- 3. 開放型病院による医療連携の推進
- 4. 教育・研修・臨床研究の推進
- 5. 健全経営

患者様の権利

- 1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
- 2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
- 3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
- 4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
- 5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
- 6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります



新年のご挨拶

副院長

ひだか みちひろ
日高 道弘

明けましておめでとうございます。皆様方にはいつも変わらぬご支援をいただき心から感謝いたします。

本年はいよいよ2025年を迎えます。昨年の当院を振り返りますと、4月に「医師の働き方改革」が本格始動し、6月に診療報酬改定、9月には外部評価である病院機能評価を受審するなど大きなイベントが目白押しの年でした。これらへの対策・対応についてはまだまだ十分とは言えません。本年も自問自答しながら、引き続き改善に取り組んでまいりたいと思っています。

また診療にあつては皆様の御期待に応え、選んでいただける病院であるべく精進してまいります。希望に満ちた晴れやかな年となりますように、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



新年のご挨拶

看護部長

つつみ れいこ
堤 令子

新年あけましておめでとうございます。

日頃より格別のお引き立てをいただき、心より感謝申し上げます。

昨年1月1日に起きた能登半島の震災は、暖かなお正月の雰囲気を一変させる衝撃的な出来事でした。あれから1年が経ちましたが、まだ日常生活を取り戻せていない被災者の方も多いと聞き、1日も早く安寧が訪れる事を願っています。当院においても、災害拠点病院の役割を果たし、地域の皆様や人々の命を守る砦として機能するよう日々の医療や看護の質向上に努め研鑽してまいります。

新しい年が喜びに満ちたものとなりますように、本年も変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



新年のご挨拶

副院長

みやなり のぶとも
宮成 信友

新年あけましておめでとうございます。

病院周囲の二の丸は、多くの観光客でにぎわい、コロナ前の状態に戻ってきている印象です。それに伴い昨年は通常の診療体制に戻った1年でした。また、4月には働き方改革がスタートし、就業管理システムも導入されました。9月には病院機能評価の本審査を受けています。過ぎてみるといろいろなことが思い出されます。今までのよう、診療実績を維持できたことは、病院を支えてくださる皆様方の協力のおかげです。感謝申し上げます。

さて、それでも詳細を検討してみると救急搬送患者が減少してきています。私どもの努力が足りないものと反省しているところです。今年度は、当院の目標に掲げてきた365日断らない診療体制を再確認し、救急体制の充実を図り、診療実績を向上させていく年にしたいと思っています。そのためには皆様方との医療連携がさらに円滑に行えるように努力してまいります。本年もどうぞご支援よろしくお願ひいたします。



新年のご挨拶

事務部長

まきの いさお
牧野 功

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は当院に対するご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。

引き続き気を緩めることのない診療体制を維持し、今年も当院が地域医療連携に貢献できるよう事務部として努めて参りたいと思います。

また、今年はすべての行事やイベントが再開し、地域の皆様とのコミュニケーションづくりができるようになることを祈念しております。

今年の干支は「巳年」です、『へび』は再生の吉兆とも言われます。

私も力強く足元を踏みしめながら楽しく一年を過ごしたいと思います。

本年も何卒よろしくお願ひいたします。



新年のご挨拶

薬剤部長

みなもと やすのり
湊本 康則

新年あけましておめでとうござ
います。

昨年は第38回臨床薬理セミナーを令和6年6月30日(日)にテーマ「薬薬連携 患者さんの医療ニーズになにができるか」でハイブリット形式での開催ができました。厚生労働省 医薬局総務課電子処方箋サービス推進室、国立大学法人熊本大学病院、熊本県病院薬剤師会、熊本県薬剤師会、熊本市薬剤師会の皆さんには感謝申し上げます。

念願であった薬剤部拡張工事を行っていただきました。拡張のおかげで、薬剤部内でのミーティングや勉強会ができる環境になりました。薬剤師教育にも力を入れ、薬剤師としての職能を発揮し、社会に貢献できるよう努力していきます。

本年も何卒宜しくお願ひ致します。



新年のご挨拶

統括診療部長・地域医療連携センター長

きくかわ ひろあき
菊川 浩明

新年あけましておめでとうござ
います。

患者さまのご紹介・逆紹介では、登録医や医師会・歯科医師会の先生方には日頃より大変お世話になり感謝申し上げます。現在、開放型病院登録医の先生方は1858名で、過去最高の登録数となっています。ご紹介頂きました患者さまには丁寧に診療を行い、当院での治療後は紹介元へお返しし、全診療科挙げて継続してきました事を評価して頂けたのも、その要因ではないかと考えています。今後も最新の医療知識・技術を取り入れ、ご紹介頂きました患者さまのために最適な医療を提供できるよう職員一同全力を尽くして参ります。引き続き熊本医療センターとの医療連携をどうぞ宜しくお願ひいたします。

追伸：昨年度受審しました病院機能評価では地域医療連携業務は最高のS評価を頂きました。幸先の良い1年になりそうな予感です！



新年のご挨拶

臨床研究部長・地域医療研修センター長

とみた まさお
富田 正郎

新年あけましておめでとうござ
います。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し2年目を迎えますが、医療現場を取り巻く環境も大きく変化しています。当院では、この変化に対応しつつ、臨床研究や地域医療研修の分野で多くの成果を挙げることができました。

臨床研究部では、英語論文の投稿や治験推進に注力し、国際的に評価される研究活動を進めております。本年も質の高い研究成果を通じて、医学の進歩に貢献してまいります。

地域医療研修センターでは、対面形式の研修を中心に、地域医療の現場で活躍する医師を育成しております。令和7年も研修内容をさらに充実させ、より多くの方々に有益な学びの場を提供してまいります。

本年もどうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。先生方のますますのご発展をお祈り申し上げます。



新年のご挨拶

救命救急科部長

さくらい としひろ
櫻井 聖大

新年あけましておめでとうござ
います。本年もどうぞよろしくお願
い申し上げます。

旧年中は救命救急センターと集中治療室の運営に格別のご高配を頂き、誠にありがとうございました。皆様に支えて頂き、無事に1年間、重症患者さまの受け入れと診療を全うする事が出来ました。心より感謝申し上げます。

本年も、あらゆる重症患者さまや緊急を要する患者さま、病態が多岐にわたる患者さま等を可能な限り受け入れ、最善な治療を提供できるように病院を挙げて頑張って参ります。お困りの際は是非、患者さまをご紹介ください。

皆様に信頼され、選んでいただける病院を目指し、職員一同精進して参りますので、今後とも御指導・御鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

第30回 国立病院機構熊本医療センター医学会プログラム

令和7年1月18日（土）

開会の辞

8:00～

高橋 毅（国立病院機構熊本医療センター 院長）

一般演題I 「外科・救急・その他部門」 座長：中川 隆志（国立病院機構熊本医療センター 脳神経外科部長）
8:05～9:35 牧野 公治（国立病院機構熊本医療センター 皮膚科部長）

I-1 インターネット配信を用いた医療機器研修会開催の試み
救命救急部 臨床工学部門 臨床工学技士 久原亮希 古瀬文音 清元 玲 松下尚暉 森永良和 佐藤朋哉
竹本勇介 新木信裕 寺下真吾

I-2 当科で施行した喉頭気管分離術 14例の検討
耳鼻いんこう科 寺田夕希 上村尚樹

I-3 高齢者に発症した精巣形質細胞腫の1例
泌尿器科 高橋えりか 前田喜寛 東俊之介 村上栄敏 鮫島智洋
矢野大輔 菊川浩明

I-4 当院歯科口腔外科における過去10年間の舌癌の臨床統計的検討
歯科口腔外科 緒方瑞穂 近藤真佳 村井健太郎 上田夏野 中尾美文
東真有香 中川文雄 谷口広祐 森久美子 中島 健

I-5 当院での糖尿病性足潰瘍に対するEPIFIX®の使用経験
形成外科 蓮田敏也 大島秀男 束野哲志 堀 菜穂

I-6 5p欠失症候群患者の大腿骨骨接合術において脊髄も膜下麻酔で麻酔管理を行なった一症例
初期研修医¹⁾ 麻酔科²⁾ 榎永悠大¹⁾ 平岡知江子²⁾ 宮崎直樹²⁾ 香月 麗²⁾ 中川文雄²⁾
笹岡由吏恵²⁾ 津山奏子²⁾ 森永真矢²⁾ 小寺厚志²⁾ 瀧 賢一郎²⁾

I-7 フライトナースの搭乗が消防防災ヘリコプターによる現場救急活動に与える影響の検討
救命救急・集中治療部¹⁾ 看護部²⁾ 櫻井聖大¹⁾ 中嶋美佳²⁾ 吉田陽平²⁾ 藤原泰志²⁾ 野口裕理子²⁾
岩原 嵩²⁾ 大本寛之¹⁾ 杉野大樹¹⁾ 深水浩之¹⁾ 渋沢崇行¹⁾
木村文彦¹⁾ 高橋 毅¹⁾

I-8 腹腔鏡下天蓋切除術を施行した感染性肝囊胞の一例
外科 高津研翔 荒木健吾 小野明日香 中尾陽佑 黒木秀幸
松本克孝 岩上志朗 水元孝郎 久保田竜夫 宮成信友

I-9 尿膜管遺残に対して腹腔鏡下尿膜管切除術を施行した12例
外科 荒木健吾 松本克孝 高津研翔 小野明日香 中尾陽佑
黒木秀幸 岩上志朗 水元孝郎 久保田竜生 宮成信友

I-10 Blue toe 症候群で発症した左膝窩動脈瘤の1例
心臓血管外科 日高秀昭 田中睦郎

一般演題II 「内科部門」

9:36～11:06

座長：水本 輝彦先生（熊本大学病院 腎臓内科助教）

大平 康伸（国立病院機構熊本医療センター 5南病棟看護師長）

II-1 SGLT2阻害薬に関連した正常血糖ケトーシスの2症例
総合診療科 久保崎順子 吉村文孝 國友耕太郎 辻 隆宏

II-2 重篤な低Na血症を来し意識障害が遷延した1型糖尿病合併Prader-Willi症候群の一例
糖尿病・内分泌内科 瀬戸口真衣 井手口拓弥 西田周平 木下博之 豊永哲至
西川武志

II-3 巨大な骨盤内リンパ節転移を来した直腸神経内分泌腫瘍の一例
消化器内科 赤木由理恵 山本祐弥 花園ゆりか 楠本周平 佐々木大児
松山太一 立山雅邦 杉 和洋

II-4 Pola-R-CHP療法後にCurvularia lunataによる肺真菌症を発症した一例
血液内科 澤 玲良 樋口悠介 田口 詩 杉谷浩規 窪田 晃
榮 達智 原田奈穂子 河北敏郎 日高道弘

II-5 化学療法中に中枢神経再発を来したMEITLの一例
血液内科 田代優加 田口 詩 河北敏郎 杉谷浩規 窪田 晃
樋口悠介 榮 達智 原田奈穂子 日高道弘

II-6 胸腺上皮過形成を伴った結節硬化型古典的ホジキンリンパ腫の1例
福岡大学病院 病理診断科¹⁾ 腫瘍・血液・感染症内科²⁾ 武藤礼治¹⁾³⁾⁴⁾ 中島勇太²⁾ 菊島百香¹⁾ 三好寛明⁴⁾ 濱崎 慎¹⁾
国立病院機構熊本医療センター 病理診断科³⁾
久留米大学病理学講座⁴⁾

II-7 診断に難渋したリウマチ性髄膜炎の一例
脳神経内科 幸崎弥之助 津田幸元 高松孝太郎 小阪崇幸 田北智裕

II-8 抗GBM抗体やANCA抗体は陰性で腎と肺に罹患した膠原病の1症例---抗MDA抗体著明高値の症例---
腎臓内科¹⁾ 呼吸器内科²⁾ 中村朋文¹⁾ 梶原健吾¹⁾ 吉井隆一¹⁾ 東 大樹¹⁾ 富田正郎¹⁾ 名村 亮²⁾

II-9 鼻炎・喘息様気管支炎症状を呈し、救命センターでの管理を必要とした成人型ヒトメタニューモウイルス(hMPV)感染症の一例
感染症内科・呼吸器内科・国際医療協力センター 小野 宏

II-10 熊本医療センターで対応した高齢者自殺企図者19名の検討
精神科¹⁾ 濑戸口 州¹⁾ 佐々木由加子¹⁾ 松岡亮佑¹⁾ 宮川雄介²⁾ 橋本 聰¹⁾
杏仁会 くまもと青明病院 精神科²⁾

一般演題III「コメディカル部門」

11:07 ~ 12:37

座長: 迫田 和樹 (国立病院機構熊本医療センター 治験主任)
松本 広美 (国立病院機構熊本医療センター 地域医療連携係長)

III-1 食物アレルギー除去食喫食患者の栄養必要量と栄養摂取量の検討
栄養管理室¹⁾ 糖尿病・内分泌内科³⁾ 佐々木沙彩¹⁾ 加來正之¹⁾ 谷水郁斗¹⁾ 藤井祐那¹⁾ 吉田珠貴²⁾
安田建物管理株式会社²⁾ 桑原 薫²⁾ 山下晶穂¹⁾ 平江由里¹⁾ 松熊真由¹⁾ 井上世雅¹⁾
古川裕美子¹⁾ 井上聰美¹⁾ 西川武志³⁾

III-2 放射線防護教育を目的とした心臓カテーテル検査室内における空間線量分布図の作成
放射線科 日吉崇文 上山史貴 木原 聰 井手口大地 白木利明 丸山裕穂

III-3 刑事施設の被取容者に対する当院の地域医療連携の現状と課題
地域医療連携室 医療ソーシャルワーカー¹⁾ 安藤秀陛¹⁾ 西迫はづき¹⁾ 三浦由江¹⁾ 坂本陽子¹⁾ 村上良子¹⁾
看護師²⁾ 地域医療連携室長³⁾ 服部 翼¹⁾ 松本広美²⁾ 菊川浩明³⁾

III-4 入院時重症患者対応メディエーター介入における多職種連携
地域医療連携室 看護師¹⁾ 大野愛美¹⁾ 池田としえ¹⁾ 安藤秀陛²⁾ 山村佳乃子³⁾ 濱野 学⁴⁾
精神保健福祉士²⁾ 心理療法士³⁾ 松本広美¹⁾
前 心理療法士⁴⁾

III-5 検体検査室における検査所要時間(TAT)短縮への取り組み
臨床検査科 岩佐学志 橋本規雅 北川敬資 井田博之 広瀬亮介 一瀬康浩

III-6 職員健診におけるFib4-indexの調査
臨床検査科 材津桃果 橋本規雅 米田祐也 岩佐学志 園田茉由
広瀬亮介 一瀬康浩 井田博之

III-7 ST合剤の内服に難渋していた3歳女児に対して、個別服薬支援と剤形変更により服薬アドヒアランス向上に寄与した症例
薬剤部 平木麻衣 小園亜希 斎藤巨樹 湊本康則

III-8 熊本医療センターにおける外来抗菌薬の使用状況の調査
薬剤部¹⁾ 小児科²⁾ 黒川雄太¹⁾ 山田政典¹⁾ 吉原涼子¹⁾ 濱崎翔平¹⁾ 松下馨介¹⁾
坂口美也子¹⁾ 斎藤巨樹¹⁾ 小園亜希¹⁾ 湊本康則¹⁾ 水上智之²⁾

III-9 当院における心肺運動負荷試験実施患者の結果と筋力・筋量の比較
リハビリテーション科 松本恭平 宮本弘太郎 村上寿一

III-10 査定率減少に向けた取り組みについて
事務部 村上鈴奈 牧野 功 久松良祐 岡本咲弥 青木千弘

昼 食 (12:37 ~ 12:55)

一般演題IV「看護部・看護学校部門」 座長: 高木 佳寿美 (国立病院機構熊本医療センター 附属看護学校教員)
12:55 ~ 13:40 阿久根 純 (国立病院機構熊本医療センター 看護部看護師長)

IV-1 効果的な人材募集活動の在り方について考える~「救急医療1日体験」を通して~
看護部教育研修室 押川妃二美 阿久根 純

IV-2 急性期精神科病棟における転倒の危険因子に関する調査
7南病棟 池尻幸大郎 東 理恵 松本広美

IV-3 急性心筋梗塞患者の行動変容ステージ段階における生活指導の評価
6北CCU 有江 渉 弓指江梨佳

IV-4 病児・病後児保育室「こぐま」の予約に関する業務改善—インターネット予約「あづかるこちゃん」を導入して—
外来 高嶋由里子 猪島美沙季 藤島愛華 川竹美恵 松山かおり

IV-5 新カリキュラムにおけるA看護学校の学生の臨床推論力の評価と課題
附属看護学校 樋口裕也 田中紀代美

総評・閉会の辞

13:40 ~ 13:45

日高 道弘 (国立病院機構熊本医療センター 副院長)

VOICE 登録医の声



理事長 かなもり 金森 正周



◆貴院のアピールをお願いします

約 100 年前から宇土市本町通りにありました金森医院は、400m 位離れた場所に新築移転し「かなもり地域ケアクリニック」と名称を変更し、令和 6 年 6 月から 19 床全室個室の有床診療所として、運営をしております。

宇土地域の「かかりつけ医」として常勤医師 4 名で外来入院及び訪問診療を行っています。

医療法人社団金森会の一員として関連施設の有料老人ホーム、介護老人保健施設や関連部署の訪問看護リハビリ、宇土市地域包括支援センターブランチ、ケアプランセンター、24 時間定期巡回訪問介護看護との連携を大切にしながら理念である「誠実であたたかい保健・医療・福祉サービスを提供し、地域の安心と発展に貢献する」の実現に向け取り組んでいます。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えて下さい

コーヒー焙煎研究所「わたる」、産地及び煎りの程度が 10 種類程あり、1 回ずつ試飲可能、気に入った豆を購入し毎朝コーヒー豆を挽いてドリップでいれ、香り味を楽しんでいます。

お茶（裏千家）は、おいしい濃茶を飲みたいと思い続けています。

その他、ゴルフ・社交ダンス

◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

いつも救急対応や紹介にも心よく引き受けていただき感謝しております。

当クリニックは入院リハビリに力を入れ（PT、OT、ST 在籍）退院後の在宅生活を医療介護の両面から支えるようにしております。

対応の患者さまの紹介をよろしくお願ひします。



【診療科目】

内科、外科、消化器内科、循環器内科、

リハビリテーション科

【診療時間】

平日 8:45 ~ 12:00 14:30 ~ 17:45

土曜 8:45 ~ 12:30

【休診日】

日曜日・祝祭日

【住所】

〒869-0408 熊本県宇土市築籠町 139 番 4

【TEL】

0964-22-0017

【FAX】

0964-22-2373



くまびよう TOPICS

11/17(日) | 第7回 熊本城下町・菓子祭りに
参加させていただきました！

【筆者】附属看護学校 77期生：佐藤 淑香

令和6年11月17日（日）、「熊本城下町・菓子祭り」に出演しました。今回、私たち学生25名は熊本医療センター附属看護学校の代表として、「よさこい」と「南中ソーラン節」の2曲を披露させていただきました。演舞開始直前まで緊張していましたが、学生一同お祭りの雰囲気を盛り上げる演舞ができたと感じています！出演後は高揚感・達成感でいっぱいでした。また、今後も、機会があれば様々なイベントに参加したいと思います。

【場所】熊本県護国神社



11/20(水) | 行事食〈季節の食材たっぷりの
秋御膳〉を提供しました

【筆者】管理栄養士：佐々木 沙彩

11月20日に秋御膳を提供しました。今回は季節の食材をふんだんに使い、見た目からも季節を感じていただけるように工夫しました。きのこの炊き込みご飯は、きのこの風味とだしをしっかり感じる味わいに仕上がりました。他にも、大根の柚子漬けや柿を提供し、患者様からは「おいしかった。」「食事から秋を感じて、写真も撮りました。」など嬉しいお声をいただきました。寒さが厳しくなりましたが、イベントも多くなる季節ですので、食材からも、見た目からも、季節を感じられるおいしい献立を、今後も提供してまいります。

【場所】熊本医療センター



12/3(火) | 「令和6年度合同慰靈祭」の開催
について

【筆者】経営企画室長：嶽本 政志

令和6年12月3日(火)13:00より、「令和6年度熊本医療センター合同慰靈祭」を執り行いました。

今回は、令和5年9月1日～令和6年8月31日の間にお亡くなりになられました607柱が対象となっており、多くの職員の参列がありました。

式は、607柱の中から、病理解剖にご協力いただきました4名の物故者の奉読から始まり、30秒間の黙祷、高橋院長より「医学の進展に遅れることなく日々研鑽を重ね更なる医療の向上と安全確保につとめる覚悟で、今後尚一層の精進を誓います。」との追悼の辞、参列者による献花の順に肃々と行われ、607名の御靈の安らかならんことを心からお祈りいたしまして、終了となりました。

終了後も、引き続き多くの職員の方々により、献花を頂きました。

最後になりますが、合同慰靈祭に参列及び献花頂きました多くの職員の方のご協力により、無事終了できましたことにお礼申し上げます。

【場所】熊本医療センター



研修医レポート

Medical Intern Report



臨床研修医

さかもと もえ
坂本 萌



こんにちは。いつもお世話になってあります、研修医1年目の坂本萌と申します。今年の3月に熊本大学を卒業し4月から熊本医療センターで初期研修をさせていただいてあります。研修は麻酔科から始まり、腎臓内科、婦人科、精神科、小児科、外科と回らせて頂き、現在は救急外来で研修をしています。初めに臨床研修をさせて頂いた麻酔科では、気管挿管やルート確保などの手技を多く経験させて頂き、麻酔薬の使い方だけでなく周術期という特殊な期間に起こりうるリスクや備えについて麻酔科の先生方や研修医2年目の先輩、手術室の看護師さん含む多職種の方に丁寧に教えて頂きました

た。腎臓内科では内服薬の管理や抗菌薬の選択など内科的な知識はもちろんのこと、透析治療のように生涯にわたって病気と付き合っていく患者さまと接する中で、途切れなく診療を継続していくために医療者に何ができるのか考えるきっかけを頂きました。研修医1年目として過ごす期間も半分を過ぎました。学生時代に学んだことと臨床現場で求められる能力のギャップに直面することも多くありましたが、同期と互いに励まし合い、時には切磋琢磨しつつ、先生方や先輩方にご指導頂きながら日々充実した研修生活を送っています。また看護師さん含む多職種の方々も研修医に優しく声をかけてくださいり、多職種で働くなかで考えるべきことを学ばせて頂いています。まだまだ未熟な身ですが患者さまや皆様に信頼していただける医療人になれるよう精進してまいります。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

臨床研修医

しもだ あきひろ
下田 晃裕



こんにちは。研修医1年目の下田晃裕と申します。栃木県にある自治医科大学医学部を卒業し、4月から熊本医療センターで初期臨床研修を行わせていただいてあります。研修が始まって8ヶ月余りが経過しました。最近は熊本の盆地が生み出す冬の寒さや、散歩している犬に吠えられることにも負けず懸命に出勤しております。まだまだ分からないことばかりですが、忙しくも充実した日々を送っています。

私は救急科から研修が始まりました。研修医1年目の救急科の主な業務は救急外来の初診です。診察しては他に聞けることはなかったかと自問自答し、指導医の先生方や研修医2年目の先生方に尋ね、反省することの繰り返しでした。また右も左もわからない状態で緊張しっぱなしの毎日が続きまし

たが、スタッフの皆様に色々なことを教えていただきながら少しづつできることが増えていきました。

私は医師3年目から熊本の僻地で地域医療に従事します。僻地ではできる検査が限られており、医療資源が乏しいため、診察能力が求められます。目の前の患者さまを今すぐ高次の医療機関に搬送するべきなのか、次の日まで待てるのか、そういうことを正確に判断できるようになることが2年間の研修の目標です。

現在は消化器内科で研修をさせていただいてあります。一緒に付かせていただいている先生の日々の患者さまへの接し方には多くのことを学ばせてもらっています。傾聴を怠らず、丁寧な対応を一人一人の患者さまに行って、私もこの先生のように患者さまに寄り添えるような医師になりたいと思いました。

まだまだ未熟で先生方やスタッフの方々にご迷惑をお掛けすることが多々あるとは思いますが、早く皆様のお役に立てるよう日々精進して参ります。2年間よろしくお願いします。

2025年1月 研修のご案内

第150回 国立病院機構熊本医療センタークリティカルパス研究会	日時▶1月8日（木）17:30～18:30 場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール
二の丸モーニングセミナー	日時▶1月9、16、23、30日（木）8:15～8:45 場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール
第38回 日本心血管インターベンション治療学会 九州 沖縄 地方会	日時▶1月11日（土）8:30～17:30 場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール
第30回 国立病院機構熊本医療センター医学会	日時▶1月18日（土）8:00～13:45 場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール
第309回 月曜会（内科症例検討会） [日本医師会生涯教育講座1.0単位認定]	日時▶1月20日（月）19:00～20:00 場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室2
1 救命救急科からの一例 2 総合診療科からの一例	
熊本県臨床検査技師会・病理細胞部門 月例会・症例検討会	日時▶1月23日（木）18:30～20:00 場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール
肝臓病教室	日時▶1月24日（金）13:00～14:00 場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室2
第78回 診断と治療－最新の基礎公開講座－ [日本医師会生涯教育講座2.5単位認定]	日時▶1月25日（土）15:00～17:30 場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「前立腺疾患を考える～標準治療から最新治療まで～」

座長 川野病院 院長

川野 尚 先生

（1）「前立腺炎」

国立病院機構熊本医療センター泌尿器科医長

鮫島 智洋

（2）「前立腺肥大症」

国立病院機構熊本医療センター泌尿器科副部長

矢野 大輔

（3）「前立腺癌」

国立病院機構熊本医療センター副診療部長 / 泌尿器科部長

前田 喜寛

小児科火曜会【WEB配信あり】

日時▶1月28日（火）19:00～21:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室1

研修へのお問い合わせはこちら

研修センター

国立病院機構熊本医療センター

QRコード▶

地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)



診療科		月	火	水	木	金
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 飼 謙	樋口 梅介 美穂	日高 弘敏郎	原田 真穂子 窪田 順子
	糖尿病・内分泌	西川 武志 (午前新患) 西田 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	木下 博之 (午前新患) 瀬戸口 真衣 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 木下 博之 (午前再診)
	呼吸器内科		熊大医師 (院内コンサルト)			
	感染症内科		小野 宏			
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾 (CKD外来)	吉井 隆一	中村 朋文 (CKD外来)	東 大樹	富田 正郎 (PD外来) (療法選択外来)
	腫瘍内科	境 健爾	境 健爾 榮 達智	境 健爾 榮 達智	境 健爾 (1.3.5週)	境 健爾 (2.4週) 榮 達智
消化器病センター (消化器内科)	診察	楠本 周平 2 診 3 診	杉 和洋 立山 雅邦 山本 祐弥	杉 和洋 花園 ゆりか 佐々木 大堯	杉 和洋 立山 太一 楠本 周平	立山 雅邦 花園 ゆりか 佐々木 大堯
	内視鏡	午前 佐々木 花園 赤木 由理恵	立山 雅邦 大堯 花園 ゆりか 赤木 由理恵	松山 太一 楠本 周平 山本 祐弥	松山 太一 楠本 周平 山本 祐弥	立山 雅邦 大堯 花園 ゆりか 赤木 由理恵
		午後 佐々木 花園 赤木 由理恵	立山 雅邦 大堯 花園 ゆりか 赤木 由理恵	立山 太一 楠本 周平 山本 祐弥	立山 雅邦 大堯 花園 ゆりか 赤木 由理恵	立山 雅邦 大堯 花園 ゆりか 赤木 由理恵
		腹部超音波	杉 和洋	花園 ゆりか	立山 雅邦	岡本 有紀子 赤木 由理恵
						杉 和洋
心臓血管センター (循環器内科)	新患	木村 優一 山村 智	玉野井 俊介 有馬 義博 (隔週)	片山 哲治	田山 信至	松原 純一
	再来	田山 信至	松原 純一	山村 智	玉野井 俊介 有馬 白尾 友宏	片山 哲治 木村 優一
(心臓血管外科)	手術日	岡本 健	田中 瞳郎	手術日		
精神・神経科	初めての方 2回目からの方					
小児科	診察	水上 智之	興梠 雅彦	水上 智之	水上 智之	渡邊 優
	免疫	水上 智之		水上 智之		
	血液	右田 昌宏		横山 智美		右田 昌宏
	アレルギー		渡邊 優			
外科		中尾 陽佑 日高 香織 (隔週)	水元 孝郎 松本 克孝 高津 研翔	岩上 志朗	宮成 信友 黒木 秀幸	久保田 竜生
脳神経センター (脳神経外科)		中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	堀 遼太 大塚 忠弘	中川 隆志	伊東山 剛 大塚 忠弘
(脳神経内科)	1 診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 幸太郎	小阪 崇幸	津田 幸元
	2 診	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助	田北 智裕
整形外科	午前	1 診 2 診 3 診	満瀬 葉介 (新患) 福元 哲也 (新患) 福田 和昭 (新患)	前田 智 (新患) 福元 哲也 (新患) 福田 和昭 (新患)	手術日	寺本 周平 (新患) 中馬 東彦 (新患) 東 宗一郎 (新患)
	午後	1 診 2 診 3 診	寺本 周平 (再診) 福元 哲也 (再診) 福田 和昭 (再診)	松下 祥大 (再診) 東 宗一郎 (再診)		満瀬 葉介 (再診) 中馬 東彦 (再診)
泌尿器科		前田 喜寛 担当医	菊川 浩明 斎島 智洋 高橋 えりか	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 矢野 実敏	菊川 浩明 担当医
産婦人科		高木 みか 瀬尾 優太朗	山本 直 坪木 純子 前田 菜々	手術日	高木 みか 坪木 純子 瀬尾 優太朗	山本 直 前田 菜々
感覚器センター (眼科)		榮木 大輔 中原 敦子 渡邊 隆弘	(手術日)	榮木 大輔 中原 敦子 渡邊 隆弘	(手術日)	榮木 大輔 中原 敦子 渡邊 隆弘
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 寺田 夕希	手術日	上村 尚樹 寺田 夕希	担当医	上村 尚樹 寺田 夕希
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	石橋 卓行	牧野 公治	浦田 和美	担当医 (手術日)	哈 斯塔 (ハスタ)
	再診 (初診 その他)	浦田 和美 石橋 卓行	哈 斯塔 (ハスタ) 牧野 公治	石橋 卓行 浦田 和美		牧野 公治 哈 斯塔 (ハスタ)
難治性皮膚疾患治療センター		午前 10時~、1日 1例限定 詳細は、熊本医療センター皮膚科 Web サイトをご覧ください				
形成外科		(午 後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 蓮田 敏也 堺 菜穂	(午 後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午 後) 大島 秀男 蓮田 敏也 堺 菜穂	(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 蓮田 敏也
放射線科	治療 (予約制) 画像診断			富高 悅司、大塚 崇裕 根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、神戸 あゆみ、大塚 崇裕、吉松 俊治		
麻酔科		宮崎 直樹 (術前診察 / 麻酔相談)				(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)
緩和ケア外来		境 健爾	境 健爾	境 健爾	境 健爾 (1.3.5週)	境 健爾 (2.4週)
歯科 口腔外科		森 久美子 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	中島 健 森 久美子 東 真有香 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 東 中尾	中島 健 谷口 広祐 東 上田 夏野
救命救急センター		櫻井 聖大 渋沢 崇行 橋本 聰 松本 克孝 國友 耕太郎 吉村 文孝 深水 浩之 杉野 大樹 大本 寛之	櫻井 聖大 渋沢 崇行 橋本 聰 松本 克孝 國友 耕太郎 久保崎 順子 深水 浩之 杉野 大樹 大本 寛之	櫻井 聖大 渋沢 崇行 橋本 聰 松本 克孝 國友 耕太郎 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹 大本 寛之	櫻井 聖大 渋沢 崇行 橋本 聰 松本 克孝 國友 耕太郎 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹 大本 寛之	櫻井 聖大 渋沢 崇行 橋本 聰 松本 克孝 國友 耕太郎 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹 大本 寛之
看護外来	ストーマ がん看護 移植後フォローアップ	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師
	担当看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師
	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師